

学校だより

プラタナス



令和2年7月13日(月)

No.16 市川市立市川小学校
校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho>



好き！をモチベーションにする、仕事にする

身長は190cmもあり、格闘家のようながっちりした体形。でも優しい丸顔の書道家、武田双雲氏をご存じの方は多いと思います。東京理科大学卒業後、企業に勤務し、2001年に書道家として独立しました。大河ドラマ「天地人」や映画のタイトル文字のほか、スーパーコンピュータ「京」のロゴマークを書いていますので、目にしたことが一度はあるかもしれません。

この武田氏が書道家になるきっかけを書いた文章があったので引用します。

母親が書道の先生だったので、ぼくも書道を習っていましたが、でも初めから書道家になろうと思っていなかったわけではないのです。

大学を卒業して会社員として働いていた時、連絡のために使うメモなどを、筆で書いてみたことがありました。するとみんなそれを面白がってくれて、いろいろなものを筆で書くようになったのがふえました。

そして、ある人の名前を筆で書いた時のことです。その人はぼくの書いた字を見て、「自分の名前が好きになった」と、涙を流してよろこんでくれました。

これが「書道で人を幸せにする仕事がしたい」と思ったきっかけです。すぐに会社をやめて、母親のもとで書道を基礎から学びなおしました。

なぜ学ぶのかという問いを抱く子供は少ないと思います。渋谷教育学園渋谷中学高等学校の河口竜行先生は、「やる気を出すための3つの秘密」について話をしています。「やる気をもつには、主体的であることが重要。誰かにやる気を出せ、主体的になれ、と言われてしまっただけでは、その時点で主体的ではないし、やる気を出すのも難しくなってしまいます。」と。授業の中では、自ら気づきを得られるように配慮しているといいます。そして3つの秘密とは、(1)自分を知る (2)自分で選ぶ (3)自分を認める、であると述べています。

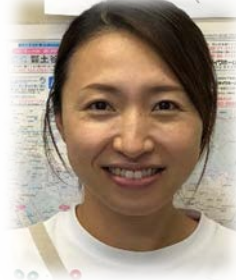
子供たち自身が、学習すること自体を楽しめるような秘かな楽しみを勉強の中に取り入れる、あるいは見つけるということが、学ぶ意味や意欲につながるのではないかと思います。例えば、「学習ノートで、キャラクターに吹き出しで語らせて自分と対話する」など、イラストが好きな子はそういうことから始めればよいのです。好きなことと日々の学習とを結びつけられれば、きっと飛躍につながるのではないのでしょうか。池上彰氏監修の「なぜ僕らは働くのか」を購入しました。読み始めたばかりですが、次号では内容をかいつまんで紹介したいと思っています。



稲木 知恵 先生
7月1日から少人数指導として、五・六年生を中心に指導しています。



小松 葉瑠 先生
7月18日から井田教諭の産休代替で三年一組を担当します。6日より勤務。



平田 永実李 先生
6月29日から佐々木教諭の産休代替で二年一組を担当しています。

好きなことでも、関心が低いことであっても

学ぶことで自分の視野は広がります

2年生が国語の学習の発展で生き物クイズ作りに取り組んでいます。興味ある生き物を選んで調べ、「○×クイズ」や「三択クイズ」などにして出題します。正解を述べたあと、その根拠となる説明を端的にするという、結構高度な課題に挑戦です。ザリガニやハムスター等、身近な生き物ほか多種多彩です。

生き物が好きで、その道に進んだ研究者も多くいます。例えば、恐竜学者の真鍋真氏は、小学生のころ、夏休みになると新宿のデパートでお金を払ってカブトムシのつかみ取りをして、それを「昆虫採集」の成果として標本を提出したといえます。さらにおもしろいのは、採集地を「新宿区新宿3丁目」と、デパートの場所を正直に記していたことです。

そしてもう一人、生物学者の福岡伸一氏も、小学生のころ、蝶を卵から蛹へと育てて観察する自由研究をまとめていたそうです。3年生がモンシロチョウやアゲハチョウを大事に育てていた姿と重なります。そのほかにも、福岡少年は台風で倒れた木から見つけた幼虫を図鑑で調べ尽くし、「新種かもしれない」と国立科学博物館に昆虫学者を訪ねたともいいます。そして、小学4年生のとき、研究者という仕事があることを知ってからは、絶版になった図鑑を古本屋街に探しに行ったり、図書館の貴重本を収めたゾーンに本を探しに行ったりしたとも伝えられます。

この福岡氏は、「自ら学ぼうとしないと自分の利他性に気づけないのです。何も知らないままでは他者の立場を考えられない。偏見や強者の支配にとらわれてしまいます。学ぶのは『自由』になるため。そして、『自由』になれば人間は人の靴を履くこともできると思っています。」と対談で述べています。「誰かの靴を履く」ということは、自発的に他者のことを知ろうとする姿を意味します。好きなことは当然ですが、関心が低いことであっても「学び」はその人の視野を必ずや広げてくれるように思います。

【学年目標を紹介します】

- 1年生：「なかよし」
- 2年生：「スマイル ～みんな にこにこ 2年生～」
- 3年生：「チャレンジ ～なんにでも ちょうせん！～」
- 4年生：「START ～新しい挑戦の始まり～」
- 5年生：「Action」 *相手の違いを知り、助け合う子
*自分の考えをもち、進んで学び子
*心も体もたくましい子
- 6年生：「LEADER×READER」



6年生の学級目標も全校児童・クラスの参考になります

■1組

絆

26人の心が糸で紡がれ結ばれる

■2組

楽しい + メリハリ - いじめ

=平和=6年2組

■3組

楽 → 伝 (まとまる)
笑 → 伝
協 → 伝

★コロナ感染症の終息(収束)が見通せない中、年内の校外学習や宿泊実施は極めて厳しい状況にあります。
★ご家族あるいは児童に「濃厚接触者」が出た場合は、学校に一報入れていただきますようお願いいたします。